

産業廃棄物処理計画書	
令和 3 年 5 月 17 日	
大分市長 佐藤 樹一郎 殿	
提出者 大分市大字中尾574-2	
住 所 株式会社 アバンテクノス	
氏 名 代表取締役 三股 守	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 097-549-7881	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 アバンテクノス
事業場の所在地	大分市大字中尾574-2
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	令和2年9月決算完成高(土木・とび土工・舗装・その他) ￥260,283円
③従業員数	13名
④産業廃棄物の一連の処理工程	工事現場 — 収集運搬者(自社含む) — 中間処理車

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
各現場代理人(現場竣工まで管理) — 会社事務所で管理						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アス殻	コン殻	木くず	廃プラ	汚泥・混合
	排 出 量	1516.79t	213.22t	6.24t	2.67t	6.11t
	(これまでに実施した取組) 中間処理業者による再生					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アス殻	コン殻	木くず	廃プラ	汚泥・混合
	排 出 量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 中間処理業者による再生					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アス殻・コン殻・木くず・廃プラ・汚泥・混合					
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アス殻・コン殻・木くず・廃プラ・汚泥・混合					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) なし				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) なし					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) なし					

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) なし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アス殻	コン殻	木くず	廃プラ	汚泥・混合
	全処理委託量	1516.79t	213.22t	6.24t	2.67t	6.11t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1516.79t	213.22t	6.24t	2.67t	6.11t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 中間処理業者による再生						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アス殻	コン殻	木くず	廃プラ	汚泥・混合
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 中間処理業者による再生					
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

上段:実績値 下段:目標値	排出量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う量	全処理委託量	優良認定処理業者への委託量	再生利用業者への委託量	認定熱回収業者への委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量
燃え殻										
汚泥	0.16t					0.16t		0.16t		
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	2.67t					2.67t		2.67t		
紙くず										
木くず	6.24t					6.24t		6.24t		
繊維くず										
動植物成残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず及び陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類	1730.01t					1730.01t		1730.01t		
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
混合	5.95t					5.95t		5.95t		